

委託事業実施内容報告書
平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】
実施内容報告書

受託団体名 小松市国際交流協会

1. 事業名称

・「協働のまちを目指して」推進事業

2. 事業の目的

・昨年度は在住外国人の日本語力向上を目指し、外国人がその日本語を駆使し、地域社会の住民と共に行事に参画・参加し、地域に生きる一員であることの認識を深めた。今年度はさらに一歩進め、「小松観光ボランティアガイドの会」との連携を深めて、多言語文化通訳として小松を訪れる外国人への多言語による観光ボランティアガイドを目指すことによって地域の一員としての認識を更に深め、日本人と協働してまちづくりを考える。また、外国人のための日本語講師養成講座を開講し、講座受講者は日本語の基礎を学び教えることにより日本語力の底上げを図ることを目標とする。そして来年度以降、今まで日本語を学ぶことを躊躇してきた外国人学習者への母語での学習の機会を提供することにより、日本語学習のすそ野を広げることを目的とする。

3. 事業内容の概要

・上記課題に対する解決策の一つとして、まず、上級レベルの学習者に外国人向けの日本語講師養成講座を開講し、どうやったら、効果的に日本語を、母語を用いて教えられるかを学ぶ機会を作る。上級レベルといえども、まだまだ日本語が十分ではないところもあるので、そのサポート体制を構築し、平成28年度には外国人が講師となって日本語教室開催を目指す。また、消防署と連携・協力し、AEDの操作習得をすることにより災害時や緊急時、外国人は支援されるだけではなく支援する側にまわれるという意識啓発につなげていく。一方、昨年から目指している、日本人に対する生活者としての外国人及び外国人に対する日本語教育推進への理解と、顔の見える関係作りを今年度も継続し、市や消防署、地域の諸団体との連携を更に深め、地域行事に参画・参加することで、外国人に対する理解を深めていく。

4. 事業の実施体制について

・小松市をはじめ、小松市消防本部やこまつ観光物産ネットワーク、小松観光ボランティアガイドの会「ようこそ」などと連携し、生活者としての外国人と地域住民が更なる顔の見える関係を築き、協働して、日本語教育の体制を整備すると共にによりよいまちづくりができるよう推進する。また、日本語教育の専門家として石川県国際交流協会の日本語専任講師や金沢大学の教授に運営委員として加わっていただき、各取組みに対し検討・検証、改善を行っていく。更に今年度は、消防署の方にも運営委員に加わっていただき、災害時・緊急時の外国人支援及び外国人が支援する側にまわり、地域で活躍していけるよう連携を推進していく。

5. 運営委員会の開催について

【運営委員】

1	志村 恵	金沢大学
2	今井 武	公益財団法人石川県国際交流協会
3	山本 祥羽	小松市消防本部
4	池上 裕子	小松市経済観光文化部国際都市推進課
5	村上 洋子	福井大学
6	北川 雅恵	小松市教育委員会
7	綾 美寿恵	小松市国際交流協会
8	グラッシ 徳子	小松市国際交流協会
9	本田 昌代	小松市国際交流協会
10		

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成27年6月7日 (日) 14:00～16:00	2時間	こまつまちづくり交流センター	志村 恵 今井 武 山本 祥羽 池上 裕子 村上 洋子 北川 雅恵 綾 美寿恵 グラッシ 徳子 本田 昌代	・今年度の各取組の内容や目的等の確認及び検討 ・日本語学習者は昨年から同様技能実習生が増加傾向にある ・学習者の増加に伴う日本語教室のレベル編成について ・AEDは世界共通なので帰国後も使うことができるようになれば良い ・外国人向け日本語講師養成養成講座は、文法なども再認識でき受講者はみな意欲的である。帰国後、日本語を教えたいという希望がある者もいる
2	平成27年11月29日(日) 14:00～16:00	2時間	こまつまちづくり交流センター	志村 恵 今井 武 村上 洋子 北川 雅恵 綾 美寿恵 グラッシ 徳子 本田 昌代	・これまでに実施した取組の報告及び今後の取組について効果的に実施できるよう検討 ・小松観光ボランティアガイド「ようこそ」さんをはじめ地域の人たちは、まだまだ「外国人＝英語」だと思い込んでいる方が多く、地域住民に対する理解促進の必要性を痛感した。今後の課題としていきたい ・学習者の増加に伴う日本語教室のレベル分けについて
3	平成28年2月21日(日) 14:00～16:00	2時間	こまつまちづくり交流センター	志村 恵 今井 武 山本 祥羽 池上 裕子 村上 洋子 北川 雅恵 綾 美寿恵 グラッシ 徳子 本田 昌代	・今年度の取組や成果の発信について報告。会場や発信の仕方を見直したほうがいいのかもかもしれない。 ・今年度の本事業全体の成果や改善点について ・日本語教室に来ていない外国人をどう取り込んでいけるかが大きな課題である。取組5の修了者(外国人日本語講師)の今後の活躍に期待。 ・この3月に消防署に新たに導入された3者通話システムもある為、外国人に対する防災活動は今後も継続していきたい。 ・学習者の増加に伴う日本語教室のレベル分けについて

6. 取組についての報告

取組1：小松市 協働のための日本語（初級）

(1) 体制整備に向けた取組の目標

・「生活者としての外国人」のための標準的なカリキュラム案とカリキュラム案に基づき近年作成した教材を使用し、日本語レベルの更なる向上と地域行事への参画による交流、顔の見える関係づくり、また参加・参画する地域行事の文化的背景の学習及び知識の習得を目指す。

(2) 取組内容

・初級クラスは生活に必要な日本語の基礎を学ぶ。

(3) 対象者

・外国人

(4) 参加者の総数 52 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数 52 人

【出身・国籍別内訳】

中国	3人	インドネシア	7人	
韓国	人	タイ	5人	・アメリカ 4人
ブラジル	9人	ペルー	1人	・カナダ 2人
ベトナム	19人	フィリピン	1人	・インド 1人
ネパール	人	日本	人	

(5) 開催時間数(回数) 84時間 (全42回)

(6) 活動の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年4月19日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	20人	あいさつ	初対面のあいさつ方法を教え実践する	グラッ子 多島 智枝	吉田 良恵
2	平成27年4月26日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	24人	自己紹介	簡単な自己紹介ができる	天野 晴美 多島 智枝	吉田 良恵
3	平成27年5月10日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	15人	時間、月日	時間月日と言える、聞ける	多島 智枝 シケイロ初音	吉田 良恵
4	平成27年5月17日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	14人	目的地に移動する	往来動詞が使えるようになる	天野 晴美 多島 智枝	吉田 良恵
5	平成27年5月24日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	18人	目的地に移動する	行きたい場所に移動できるようになる	グラッ子 多島 智枝	吉田 良恵
6	平成27年5月31日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	14人	動作と言える	生活に必要な基本動詞がつかえるようになる	グラッ子	吉田 良恵
7	平成27年6月7日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	21人	動作と言える	簡単な日常生活を話せるようになる	天野 晴美 シケイロ初音	吉田 良恵
8	平成27年6月14日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	17人	位置と言えるようになる	存在や場所が話せるようになる	グラッ子 多島 智枝	吉田 良恵
9	平成27年6月21日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	16人	買い物しよう	スーパーで買い物をする	グラッ子 シケイロ初音	吉田 良恵
10	平成27年6月28日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	10人	物品を購入する	必要な物を売っている場所を聞く	天野 晴美 多島 智枝	吉田 良恵
11	平成27年7月5日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	19人	料理を作ろう	料理に必要な言葉を知る	天野 晴美 多島 智枝	吉田 良恵

12	平成27年7月12日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	15人	料理を作ろう	調理実習をする	多島 智枝 ｼｹｲﾚｯﾄﾞ初音	吉田 良恵
13	平成27年7月19日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	19人	救命救急	AEDのための事前学習	天野 晴美 ｸﾗｯｼﾞ 徳子	吉田 良恵
14	平成27年7月26日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	16人	救命救急	AED		
15	平成27年8月2日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	19人	応急手当	119に電話したり人を助けたりする日 本語を覚える	多島 智枝 ｼｹｲﾚｯﾄﾞ初音	吉田 良恵
16	平成27年8月9日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	20人	医療機関で治療を受け る①	医療に自分の症状を伝えられるように する	天野 晴美 多島 智枝	吉田 良恵
17	平成27年8月23日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	19人	医療機関で治療を受け る②	問診票の書き方、答え方	天野 晴美 多島 智枝	吉田 良恵
18	平成27年8月30日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	14人	医療機関で治療を受け る③	薬の購入の仕方、飲み方	天野 晴美 多島 智枝	吉田 良恵
19	平成27年9月6日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	17人	レストランを探す	希望のあるレストランを探しアドバイ スを受ける	天野 晴美 多島 智枝	吉田 良恵
20	平成27年9月13日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	15人	レストランで食事しよう	メニューを見て注文できるようになる	天野 晴美 多島 智枝	吉田 良恵
21	平成27年9月20日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	14人	非常のとき	小松市主催の防災訓練に参加するた めの事前学習①	天野 晴美 多島 智枝	吉田 良恵
22	平成27年9月27日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	13人	防災訓練	小松市主催の防災訓練に参加するた めの事前学習②	多島 智枝 ｼｹｲﾚｯﾄﾞ初音	吉田 良恵
23	平成27年10月4日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	17人	住宅を探す	住宅に希望や条件を伝えることができ る	ｸﾗｯｼﾞ 徳子 多島 智枝	吉田 良恵
24	平成27年10月11日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	10人	引越しをする	部屋にあるものが言えるようになる	多島 智枝 ｼｹｲﾚｯﾄﾞ初音	吉田 良恵
25	平成27年10月18日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	15人	予約する	レストランや公共施設の予約が取れる ようになる	天野 晴美 ｸﾗｯｼﾞ 徳子	吉田 良恵
26	平成27年10月25日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	22人	旅行に行こう	旅行の計画を立ててみる	天野 晴美 多島 智枝	吉田 良恵
27	平成27年11月1日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	20人	旅行に行こう	宿泊施設や交通機関を予約する	天野 晴美 多島 智枝	吉田 良恵
28	平成27年11月8日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	17人	市内リサーチ	市内リサーチ、事前講座	天野 晴美 多島 智枝	吉田 良恵
29	平成27年11月15日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	13人	ごみ問題	小松市のごみの分別が正しくできるよ うになる	天野 晴美	吉田 良恵
30	平成27年11月22日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	23人	ごみ問題	リサイクルについて学習する	天野 晴美 北川 雅恵	吉田 良恵
31	平成27年11月29日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	22人	ごみ問題	分別が難しいごみについての対応を 知る	多島 智枝 ｼｹｲﾚｯﾄﾞ初音	吉田 良恵
32	平成27年12月6日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	13人	劇をしよう	劇の練習をする	天野 晴美 ｸﾗｯｼﾞ 徳子	吉田 良恵
33	平成27年12月13日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	13人	劇をしよう	劇の練習をする	多島 智枝 ｼｹｲﾚｯﾄﾞ初音	吉田 良恵

34	平成27年12月20日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	15人	プレゼントをする、受け 取る	プレゼントをもらったり、あげたりする 時の日本語を学ぶ	天野 晴美 シキイロ味`初 音	吉田 良恵
35	平成28年1月10日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	14人	お正月行事	日本の伝統的なお正月を理解し、体 験する		吉田 良恵
36	平成28年1月17日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	14人	郵便局を利用する	郵便局の利用の仕方	天野 晴美 シキイロ味`初 音	吉田 良恵
37	平成28年1月24日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	17人	郵便局を利用する	郵便局で荷物を送る	天野 晴美 グlassian 徳 子	吉田 良恵
38	平成28年1月31日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	11人	宅配便を利用する	不在配達通知に関する言葉を知る	多島 智枝 シキイロ味`初 音	吉田 良恵
39	平成28年2月7日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	12人	宅配便を利用する	不在配達通知に対応する	グlassian 徳 子 多島 智枝	吉田 良恵
40	平成28年2月14日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	13人	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるようになる①	天野 晴美 シキイロ味`初 音	吉田 良恵
41	平成28年2月21日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	15人	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるようになる②	天野 晴美 グlassian 徳 子	吉田 良恵
42	平成28年2月28日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	16人	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるようになる③	多島 智枝 シキイロ味`初 音	吉田 良恵

(7) 特徴的な活動風景(2~3回分)

活動例①

【第14回 7月26日(日)】 防災訓練(AED体験)

消防署の方にAEDの使用の仕方を習い実際に訓練してみた。自分たちも助けられる側から助ける側になれることをしっかりと理解してもらい、地域に役に立つことができるとわかり良かったと思われる。



活動例②

【第29回 11月15日(日)】

ごみ問題について考えてみた。リサイクルがいかに必要かという事と、地域住民からクレームが出たときにどう対応すればよいかを学んだ。



(8) 目標の達成状況・成果

外国人学習者が情報弱者にならないように、自ら情報を集め、それにはどうすればよいか、その情報をもとに何ができるかを考え、地域住民とともに災害時などに年配者を助けたり自国の人たちに情報を提供したりできるよう意識改革を促した結果、たどたどしい日本語でもそれなりに使えば自分たちも力になれると体験できた点良かった。また、実際にAEDを使用し会社や外でも使用し人命救助に自分たちも社会に貢献できると感じてくれ、日本語学習意欲向上にもつながったように思われる。

(9) 今後の改善点について

ごみの問題については、前に比べれば意識が変わってきているように思われたが、まだまだリサイクルの点では知らないことが多く、地域住民とトラブルが起こらないように取り組んでいったほうが良いと思われた。

取組1:小松市 協働のための日本語(中級)

(1) 体制整備に向けた取組の目標

・「生活者としての外国人」のための標準的なカリキュラム案とカリキュラム案に基づき近年作成した教材を使用し、日本語レベルの更なる向上と地域行事への参画による交流、顔の見える関係づくり、また参加・参画する地域行事の文化的背景の学習及び知識の習得を目指す。

(2) 取組内容

・中級クラスは生活の中で不自由がないように、日常会話が円滑に行えるようにレベルアップを目指す。

(3) 対象者

・外国人

(4) 参加者の総数 39 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数 39 人

【出身・国籍別内訳】

中国	3人	インドネシア	3人	
韓国	人	タイ	3人	・ハンガリー 1人
ブラジル	5人	ペルー	人	・台湾 1人
ベトナム	21人	フィリピン	人	・アメリカ 2人
ネパール	人	日本	人	

(5) 開催時間数(回数) 84時間 (全42回)

(6) 活動の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年4月19日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	13人	あいさつ	あいさつの文化的相違を理解する	中村 知恵 村上 洋子	吉田 良恵
2	平成27年4月26日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	11人	自己紹介	自己紹介や他者紹介を理解する	グラッ 徳子 中村 知恵	吉田 良恵
3	平成27年5月10日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	12人	目的地に移動する	公共機関を利用する	天野 晴美 北川 雅恵	吉田 良恵
4	平成27年5月17日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	11人	目的地に移動する	タクシーを利用する	北川 雅恵 グラッ 徳子	吉田 良恵
5	平成27年5月24日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	12人	目的地に移動する	目的地までの道を探る	天野 晴美 中村 知恵	吉田 良恵

6	平成27年5月31日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	12人	地域社会の一員となる	各種手続きの種類や仕方を理解する	北川 雅恵	吉田 良恵
7	平成27年6月7日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	13人	地域社会の一員となる	税金や確定申告の仕方を理解する	グラッ 子 徳 多島 智枝	吉田 良恵
8	平成27年6月14日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	18人	通信する	電話の掛け方や、受け方を理解する	天野 晴美 北川 雅恵	吉田 良恵
9	平成27年6月21日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	15人	災害に備え対応する	気象情報に留意し理解する	北川 雅恵 中村 知恵	吉田 良恵
10	平成27年6月28日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	14人	非常のとき	大雨や台風情報に留意し理解し行動 する	グラッ 子 徳 中村 知恵	吉田 良恵
11	平成27年7月5日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	16人	非常のとき	避難場所・方法の情報を理解したり人 に聞いたりする	北川 雅恵 グラッ 子 徳	吉田 良恵
12	平成27年7月12日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	14人	救命救急	消防・救急に電話する	北川 雅恵 グラッ 子 徳	吉田 良恵
13	平成27年7月19日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	12人	救命救急	AEDのための事前学習	大杉 桂子 中村 知恵	吉田 良恵
14	平成27年7月26日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	11人	救命救急	AED		
15	平成27年8月2日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	11人	料理を作ろう	料理に必要な言葉を知る	グラッ 子 徳 村上 洋子	吉田 良恵
16	平成27年8月9日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	12人	料理を作ろう	調理実習をする	北川 雅恵 グラッ 子 徳	吉田 良恵
17	平成27年8月23日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	12人	物品を購入する	必要な物を売っている場所を聞く	大杉 桂子 中村 知恵	吉田 良恵
18	平成27年8月30日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	13人	物品を購入する	商品について聞いて情報を得る	北川 雅恵 中村 知恵	吉田 良恵
19	平成27年9月6日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	23人	物品を購入する	商品の機能や使い方、値段を聞くこと ができる	北川 雅恵 グラッ 子 徳	吉田 良恵
20	平成27年9月13日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	18人	物品を購入する	必要な物を選んで購入する	北川 雅恵 グラッ 子 徳	吉田 良恵
21	平成27年9月20日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	13人	防災訓練	小松市主催の防災訓練に参加するた めの事前学習①	北川 雅恵 グラッ 子 徳	吉田 良恵
22	平成27年9月27日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	15人	防災訓練	小松市主催の防災訓練に参加するた めの事前学習②	中村 知恵 グラッ 子 徳	吉田 良恵
23	平成27年10月4日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	20人	医療機関で治療を受け る	医者に自分の症状を伝えることができ る	北川 雅恵 中村 知恵	吉田 良恵
24	平成27年10月11日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	15人	医療機関で治療を受け る	問診票の書き方、答え方	グラッ 子 徳 村上 洋子	吉田 良恵
25	平成27年10月18日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	17人	医療機関で治療を受け る	検査について知る	中村 知恵 村上 洋子	吉田 良恵
26	平成27年10月25日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	17人	薬の飲み方	医者でもらった薬の飲み方がわかる ようになる	大杉 桂子	吉田 良恵
27	平成27年11月1日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	15人	旅行する	旅行に必要な予約の仕方を練習する	北川 雅恵 グラッ 子 徳	吉田 良恵

28	平成27年11月8日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	14人	市内リサーチ	市内リサーチ、事前講座	北川 雅恵 グlassian徳子 (各1H)	吉田 良恵
29	平成27年11月15日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	15人	ごみ問題	小松市のごみの分別が正しくできるようになる	大杉 桂子 中村 知恵	吉田 良恵
30	平成27年11月22日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	14人	ごみ問題	リサイクルについて学習する	大杉 桂子 中村 知恵	吉田 良恵
31	平成27年11月29日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	14人	ごみ問題	分別が難しいごみについての対応を知る	大杉 桂子 グlassian 徳子	吉田 良恵
32	平成27年12月6日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	16人	劇をしよう	劇の練習をする	北川 雅恵 中村 知恵	吉田 良恵
33	平成27年12月13日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	18人	劇をしよう	劇の練習をする	北川 雅恵 中村 知恵	吉田 良恵
34	平成27年12月20日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	20人	プレゼントをする、受け取る	プレゼントをもらったり、あげたりする時の日本語を学ぶ	北川 雅恵 グlassian 徳子	吉田 良恵
35	平成28年1月10日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	21人	お正月行事	日本の伝統的なお正月を理解し、体験する		吉田 良恵
36	平成28年1月17日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	19人	郵便局を利用する	郵便局で荷物を送ったり送金したりする	北川 雅恵 グlassian 徳子	吉田 良恵
37	平成28年1月24日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	18人	宅配便を利用する	不在配達通知に対応する	北川 雅恵 中村 知恵	吉田 良恵
38	平成28年1月31日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	20人	市役所での手続き	必要箇所に記入し必要な書類を揃える	北川 雅恵 グlassian 徳子	吉田 良恵
39	平成28年2月7日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	19人	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるようになる①	大杉 桂子 中村 知恵	吉田 良恵
40	平成28年2月14日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	17人	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるようになる②	北川 雅恵 グlassian 徳子	吉田 良恵
41	平成28年2月21日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	22人	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるようになる③	北川 雅恵 中村 知恵	吉田 良恵
42	平成28年2月28日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	20人	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるようになる④	北川 雅恵 中村 知恵	吉田 良恵

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

活動例①

【第14回 7月26日(日)】防災訓練(AED体験)

消防署の方にAEDの使用の仕方を習い実際に訓練してみた。自分たちも助けられる側から助ける側になれることをしっかりと理解してもらい、地域に役に立つことができるとわかり良かったと思われる。



活動例②

【第29回 11月15日(日)】

ごみ問題について考えてみた。リサイクルがいかに必要かという事と、地域住民からクレームが出たときにどう対応すればよいかを学んだ。



(8) 目標の達成状況・成果

各取り組みや行事に参加した後、意見や感想などをインタビュー調査したところ、地域住民と日本語でコミュニケーションをとることで、今以上に日本語を使用することに自信が持てたようである。クラス内で使用しない日本語などを聞いた話そうとしたり良い刺激になったと思われる。

(9) 今後の改善点について

日本語だけでAEDなどの説明を聞くのはやはり難しいので、実際に体験したり上級者の助けを借りたりして参加したため、よかったと思う。

取組1:小松市 協働のための日本語(上級)

(1) 体制整備に向けた取組の目標

・「生活者としての外国人」のための標準的なカリキュラム案とカリキュラム案に基づき近年作成した教材を使用し、日本語レベルの更なる向上と地域行事への参画による交流、顔の見える関係づくり、また参加・参画する地域行事の文化的背景の学習及び知識の習得を目指す。

(2) 取組内容

・上級クラスは取り組む行事に必要な知識や取組の意図、またその行事に参加するのに覚えた方が良い専門用語や、語彙、表現などを中心に学ぶ。

(3) 対象者

・外国人

(4) 参加者の総数 26 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数 26 人

【出身・国籍別内訳】

中国	5人	インドネシア	3人	
韓国	人	タイ	3人	・ウルグアイ 1人
ブラジル	8人	ペルー	1人	・アメリカ 1人
ベトナム	2人	フィリピン	人	・香港 1人
ネパール	人	日本	人	・台湾 1人

(5) 開催時間数(回数) 84時間 (全42回)

(6) 活動の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年4月19日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	7人	桜の木を知ろう	ブラジル人にゆかりのある桜の手入れについて学ぶ	牧本 暢子	吉田 良恵
2	平成27年4月26日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	7人	今年度の活動予定	今年度のクラスで取り組む内容を話し合う	村上 洋子 北川 雅恵	吉田 良恵
3	平成27年5月10日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	6人	お旅祭りを知ろう	お祭りで行われる子供歌舞伎の内容を知る	村上 洋子	吉田 良恵
4	平成27年5月17日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	7人	植樹祭	小松市で行われた植樹祭について知る	村上 洋子 大杉 桂子	吉田 良恵
5	平成27年5月24日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	天皇制とは	植樹祭にいらした天皇について知る	村上 洋子 北川 雅恵	吉田 良恵
6	平成27年5月31日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	7人	俳句を作ろう	俳句について学ぶ	牧本 暢子	吉田 良恵
7	平成27年6月7日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	俳句を飾ろう	作った俳句を色紙に書く	村上 洋子 北川 雅恵	吉田 良恵
8	平成27年6月14日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	擬音語	雨の音を表現しよう	牧本 暢子 村上 洋子	吉田 良恵
9	平成27年6月21日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	6人	擬音語	様々な擬音語を知ろう	村上 洋子 大杉 桂子	吉田 良恵
10	平成27年6月28日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	7人	擬態語	面白い擬態語を知ろう	村上 洋子 北川 雅恵	吉田 良恵
11	平成27年7月5日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	9人	七夕	七夕飾りを作り願い事を書こう	村上 洋子	吉田 良恵
12	平成27年7月12日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	救急、消防の働き	救急車や消防車の働きを知る	村上 洋子	吉田 良恵
13	平成27年7月19日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	救急医療について	今回の体験に備えてAEDの仕組みを知る	牧本 暢子	吉田 良恵
14	平成27年7月26日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	6人	AEDの使い方	AEDの使い方を体験する		
15	平成27年8月2日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	星を観察しよう	星の名前や由来を知る	牧本 暢子	吉田 良恵
16	平成27年8月9日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	7人	バーベキューをしよう	バーベキューの計画と準備	村上 洋子	吉田 良恵
17	平成27年8月23日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	マイナンパーとは	マイナンパーとは何かを知る	村上 洋子	吉田 良恵
18	平成27年8月30日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	7人	マイナンパーについて 広めよう	学んだことを母語で知らせるときの注意点など	牧本 暢子	吉田 良恵
19	平成27年9月6日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	7人	国勢調査とは	国勢調査とは何かを知る	村上 洋子	吉田 良恵
20	平成27年9月13日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	国勢調査について広め よう	国勢調査の必要性を周りに知らせよう	村上 洋子	吉田 良恵
21	平成27年9月20日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	9人	防災事前学習	防災についてまなぶ	牧本 暢子	吉田 良恵
22	平成27年9月27日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	9人	防災訓練に参加しよう	近くの小学校で実際に土嚢作りや降雨体験をする	村上 洋子 大杉 桂子	吉田 良恵

23	平成27年10月4日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	7人	防災訓練振り返り	災害時の問題点を話し合う	村上 洋子	吉田 良恵
24	平成27年10月11日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	運動会をしよう	運動会の計画と準備	牧本 暢子	吉田 良恵
25	平成27年10月18日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	運動会をしよう	運動会の実施	牧本 暢子	吉田 良恵
26	平成27年10月25日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	小松のいいところ発見	事前調査	村上 洋子	吉田 良恵
27	平成27年11月1日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	7人	小松のいいところ発見	アンケート作成	牧本 暢子	吉田 良恵
28	平成27年11月8日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	小松のいいところ発見	市内リサーチのための事前講座	村上 洋子 (1H)	吉田 良恵
29	平成27年11月15日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	小松のいいところ発見	アンケート調査をまとめて発表する	村上 洋子	吉田 良恵
30	平成27年11月22日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	9人	自分の意見を書こう	スピーチを書く	村上 洋子	吉田 良恵
31	平成27年11月29日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	9人	自分の意見を書こう	スピーチを書く	村上 洋子	吉田 良恵
32	平成27年12月6日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	自分の意見を発表しよう	スピーチの発表練習	村上 洋子	吉田 良恵
33	平成27年12月13日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	9人	クリスマス会の劇	劇の練習	牧本 暢子	吉田 良恵
34	平成27年12月20日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	9人	クリスマス会	クリスマス会の準備と進行	村上 洋子	吉田 良恵
35	平成28年1月10日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	書初め、もちつき	今年の目標を書く		吉田 良恵
36	平成28年1月17日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	10人	スピーチ発表	自分の意見を発表する	村上 洋子	吉田 良恵
37	平成28年1月24日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	9人	味噌づくり	日本の伝統を体験する	村上 洋子	吉田 良恵
38	平成28年1月31日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	今年度の取り組みをま とめる	自分たちのかかわった行事の内容を まとめる	牧本 暢子	吉田 良恵
39	平成28年2月7日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	11人	ポスター作製	まとめたものでポスターを作る	村上 洋子	吉田 良恵
40	平成28年2月14日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	9人	ポスター発表	今年度取組ポスター発表	村上 洋子	吉田 良恵
41	平成28年2月21日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	今年度のまとめ	課題と反省	牧本 暢子	吉田 良恵
42	平成28年2月28日 (日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	8人	来年度に向けて	行事の計画と確認	村上 洋子	吉田 良恵

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

活動例①

【第14回 7月26日】防災訓練(AED体験)

駅や会社で人が倒れているときの救急車の呼び方、心肺蘇生法、AEDの使い方を学んだ。小松市国際交流協会にもAEDがあり、もしもの時にはそれを使って助けることができるように、実際に体験して学んだ。上級クラスは初級クラスのメンバーの通訳も兼ねて訓練をした。



活動例②

【第28回 11月8日】小松のいいところ発見

事前学習では那谷寺の歴史や苔の里について、歴史やその背景を学んだ。小松市が移動のために貸してくれたバスで、那谷寺や、苔の里を小松観光ボランティアガイドの会「ようこそ」の方にガイドをしていただき実際に見学をし、自分の家族や友達が小松に来た時に案内できるように学んだ。また、外国人の目から見て、小松市内の観光地の長所や短所をアンケート調査した。アンケートは母語で作り、一緒に参加したほかのクラスの学習者にも実施し、後日アンケート結果を日本語でまとめ小松市へ提言した。



(8) 目標の達成状況・成果

AEDの体験については、日本語初級レベルの外国人のための通訳も兼ねていたので大変だったという意見もあったが、実際に災害時には日本語のできない人を母語で支援する必要があることを認識できてよかったという意見が多かった。小松のいいところ発見では、観光地を事前に調査した上で、母語でアンケートを作成し、実施した。調査結果を日本語でまとめ、最終的には2月に市民への発信までできたことは有意義だった。去年は取組数が多く、学習者の負担も大きかったが今年度は取組数を制限したので、その分一つ一つの取組に集中できた。

(9) 今後の改善点について

小松のいいところ発見の取組では、歴史的背景や、松尾芭蕉のような歴史的人物の説明が必要になり、日本の歴史をもっと知りたいという要望があった。またマイナンバーの説明の際には、行政上の手続きに必要な用語など、まだまだ勉強すべきことがあると認識させられた、という意見があった。生活するうえで必要な語彙だけではなく、日本語上級者として、周りの人をサポートできるようにさらなる取組が期待される。

取組2: 防災訓練(AED体験)

(1) 体制整備に向けた取組の目標

・外国人には、最近駅や公共の場に取り付けられているAEDの機械の使い方を学ぶと共に、防災に対する意識啓発にもつなげ、もしもの時に備えることができるようにする。更に、小松市が実施する小松市総合防災訓練に参加・協力し、災害時・緊急時外国人は支援されるだけでなく支援することができ、地域の一員として活躍できるということを認識できるように取組む。今年度は消防署の方にも運営委員に加わっていただき、更に連携・協力を強め、日本語教育・多文化共生社会推進の理解へとつなげる。

(2) 取組内容

・小松市消防本部が実施している救命講習の救命入門コース(胸骨圧迫とAEDの使い方について)を受講し、AEDの使い方を習得すると共に防災や救命に対する意識啓発を行い、小松市が実施する小松市総合防災訓練に、支援される側ではなく、支援する側として参加・協力できるよう取組む。また、消防署には、消防で普段使用する防災・救命用語では外国人には理解しづらいことを体験してもらうことにより日本語教育推進の重要性を理解してもらう。

(3) 対象者

・外国人

(4) 参加者の総数 31 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数 21 人

【出身・国籍別内訳】

中国	3人	インドネシア	1人	
韓国	人	タイ	2人	・アメリカ(1人)
ブラジル	8人	ペルー	人	・ウルグアイ(1人)
ベトナム	4人	フィリピン	人	・ハンガリー(1人)
ネパール	人	日本	10人	

(5) 開催時間数(回数) 2時間 (全1回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年7月26日 (日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり 交流センター	31人	・AEDの操作や機械の はなす日本語に慣れる ・防災・救命に対する意 識啓発	・119番への通報(電話)の仕方(伝 えなくてはいけない内容とは) ・AED操作の説明を受け、3グループ に分かれて体験	小松市消防 本部4人	北川 雅恵 グレース徳子 村上 洋子 天野 晴美 大杉 桂子 多島 智枝 中村 知恵 シケイロ初 音 本田 昌代

(7) 特徴的な活動風景(2~3回分)

活動例①

【7月26日】
119番への通報(電話)の仕方を学んだあと、訓練用の人形を使って人工呼吸やAEDの体験をした。



(8) 目標の達成状況・成果

訓練後と次週の2回に分けてインタビュー形式で確認したところ、AEDは世界共通だという説明を受けると、「帰国後も役立てることができる」と興味を持った受講者が多くいた。人形を使って実際に訓練できたことは分かりやすく有意義だったと好評であった。少しずつではあるが防災に対する意識啓発につながっているように感じた。

(9) 今後の改善点について

大変わかりやすい体験型の訓練であったので日本語教室にきている外国人だけでなく、来ていない外国人も多く参加してもらえるよう広報の仕方を検討する必要がある。

取組3:小松のいいところ発見！パート②

(1) 体制整備に向けた取組の目標

・小松市内観光地を日本人ボランティアガイド団体、小松観光ボランティアガイドの会「ようこそ」やこまつ観光物産ネットワークと連携し、多言語で観光地の案内ができるよう、地域住民と外国人の協働でよりよいまちづくりを目指す。

(2) 取組内容

・昨年度は小松市内を日本人と一緒にリサーチし、よいところを発見し、外国人自らが地域に向けて発信した。今年度はそれを更に範囲を広げて観光地にターゲットを絞り、日本人観光ガイドと共に母語で案内できるように、また、どのような案内表示や情報発信、受けられるサービスがあると良いか等外国人にとって安心できるかも検証する。

(3) 対象者

・外国人

(4) 参加者の総数 46 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数 34 人

【出身・国籍別内訳】

中国	6人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	1人	・アメリカ 1人
ブラジル	11人	ペルー	人	・ウルグアイ 1人
ベトナム	12人	フィリピン	人	・台湾 1人
ネパール	人	日本	12人	・ハンガリー 1人

(5) 開催時間数(回数) 4時間 (全1回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年11月8日 (日) 10:30~11:30	1	こまつまちづくり 交流センター	42人	那谷寺を知ろう (事前講座)	小松で一番有名なお寺の構造や文化的背景を知る	田村 正 関戸 昌郎	なし
2	平成27年11月8日 (日) 13:00~16:00	3	那谷寺、日用苔 の里	46人	小松のいいところを見つ けよう	グループに分かれ、ボランティアガイド の方の説明を聞きながら、視察する	なし	北川 雅恵 グレース 徳子 村上 洋子 多島 智枝 中村 知恵 牧本 暢子

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

活動例①

地域のボランティアガイドに小松市の代表的な観光地である那谷寺について事前に講座を受け、現地でも4グループに分かれて説明を受けながら小松のいいところや外国人の目から見ての改善点等をリサーチした。



(8) 目標の達成状況・成果

小松市内に住んでいながら訪れたことがない外国人が多く、ほとんどの外国人が友人や家族を連れて行きたい、と大変好評だった。パンフレット等は英語だけではなく多言語で準備されているとより良い、等の意見も活発に出ていた。これから、どんどん小松のいいところを発信していけば、まちづくりに繋がることを知り、自分たちも地域の一員であるという認識にもなった。

(9) 今後の改善点について

歴史的背景や人物名などの説明が日本語上級者であっても難しく、もっと知りたいという要望があった。また、ボランティアガイドの方々をはじめ地域住民には、まだまだ「外国人＝英語」という意識が強く、地域住民への理解促進の必要性を改めて痛感した。次年度以降は地域住民への理解促進にもう少し力を入れていきたい。

取組4: 多文化共生ポスター発表

(1) 体制整備に向けた取組の目標

・本事業の取組みや活動、得られた成果などを広く地域に知ってもらうことにより、多文化共生社会における相互理解や交流、日本語教育推進への理解を深め、外国人には地域社会の一員になるための、日本人には社会教育の一環とする。

(2) 取組内容

・小松市が主催するイベント会場内にスペースを設けてもらい、今年度本事業の取組や活動、成果や改善点、外国人からの感想等を地域へ発信する。

(3) 対象者

・地域住民(外国人・日本人問わず)

(4) 参加者の総数 500 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数 11 人

【出身・国籍別内訳】

中国	1人	インドネシア	人	・ウルグアイ 1人 ・内訳不明外国人89人
韓国	人	タイ	2人	
ブラジル	5人	ペルー	人	
ベトナム	2人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	400人	

(5) 開催時間数(回数) 2時間 (全1回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年2月14日 (日) 13:00~15:00	2	こまつ芸術劇場 うらら	500人	今年度の取組や活動、 成果や改善点等の発信	小松市が主催するイベント会場内に スペースを設けてもらい、今年度本事業の取組や活動、成果や改善点、外国人からの感想等を地域へ発信する	なし	北川 雅恵 グラッシ徳子 村上 洋子 天野 晴美 中村 知恵 牧本 暢子 本田 昌代 吉田 良恵 佐々木アマウリ 杉本ファビオ 盛合マウリシオ 真田サオリ コーラキッティ コーンタンノーク 柿森ミキオフェルナント 村仲マルシオ 金楊玲 ホアンフンジャン ナーリーロップ カーロム グエンティイエン

(7) 特徴的な活動風景(2~3回分)

活動例①

今年度の授業内容や、AED体験、市内リサーチ、さらには日本語養成講座の様子や感想をまとめ、ポスターを作成し、多くの日本人の前で発表した。取り組みの成果を発表することができた。



(8) 目標の達成状況・成果

1年間の活動の計画から実施、その成果の発表までを日本人と外国人が共に立案し、実施し、成果の発表までできたことは達成感もあり、よかった。取組の数を減らすことで昨年より外国人の負担を減らすことができ、また一つ一つの取組に一生懸命取り組むことができた。

(9) 今後の改善点について

今回は小松市主催のイベントにスペースを設けてもらう、という形で発信の場を設定した。来場した多くの地域住民に発表を聞いてもらうことができたが、周りが賑やかすぎて、せっかくのポスター発表の声がかき消されてしまうような場面もあった。来年度はもう少し発表の場を考えたほうがいいのかもしいない。

取組5:外国人向け日本語講師養成講座

(1)体制整備に向けた取組の目標

・日本語上級レベルの外国人が自分たちの母語を使用し、日本語が全く話せない外国人に対し初級日本語を教えられるように日本語の教え方を学ぶ。また、日本語の教え方を学ぶことにより、まだ日本語を学習したことがない外国人に対し学習の機会を提供できるようにする。

(2)取組内容

・これまで学習を続けてきた上級レベルの外国人が、自分たちの母語を用いて日本語を教えられるように、日本語の基礎的な文法や教え方の工夫を共に考える。また、まだ日本語を学習したことがない外国人に対し日本語学習の機会を提供できるようになることによって、外国人のすそ野を広げ、困っている外国人の支援ができるようにする。

(3)対象者

・外国人

(4)参加者の総数 23 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数 23 人

【出身・国籍別内訳】

中国	6人	インドネシア	人	・コロンビア(1人) ・ウルグアイ(1人)
韓国	人	タイ	3人	
ブラジル	8人	ペルー	人	
ベトナム	4人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	人	

(5) 開催時間数(回数) 30時間 (全28回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年5月10日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	13人	日本語とは	日本語の特徴を知ろう	村上 洋子	吉田 良恵
2	平成27年5月17日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	9人	日本語とは	自分の言語と比較してみよう	村上 洋子	吉田 良恵
3	平成27年5月24日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	9人	日本語の発音	アクセントとイントネーション	村上 洋子	吉田 良恵
4	平成27年6月7日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	13人	日本語の発音	長母音、撥音、促音、プロミネンス	村上 洋子	吉田 良恵
5	平成27年6月14日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	7人	日本語の文字	ひらがな、カタカナ	村上 洋子	吉田 良恵
6	平成27年6月21日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	10人	日本語の文字	漢字	村上 洋子	吉田 良恵
7	平成27年6月28日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	9人	挨拶表現	日常使われる挨拶	村上 洋子	吉田 良恵
8	平成27年7月5日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	8人	助数詞	月、日、時間、数の数え方	村上 洋子	吉田 良恵
9	平成27年7月12日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	7人	助詞	助詞(は が を)	村上 洋子	吉田 良恵

10	平成27年8月2日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	7人	助詞	助詞(に で)	村上 洋子	吉田 良恵
11	平成27年8月9日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	5人	動詞	動詞のグループ分け	村上 洋子	吉田 良恵
12	平成27年8月23日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	7人	動詞	動詞の活用	村上 洋子	吉田 良恵
13	平成27年9月6日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	9人	形容詞	形容詞とは	村上 洋子	吉田 良恵
14	平成27年9月13日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	5人	形容詞	形容詞の活用	村上 洋子	吉田 良恵
15	平成27年9月27日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	8人	ドリル練習	様々なドリル練習の仕方を知る	村上 洋子	吉田 良恵
16	平成27年10月4日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	8人	ドリル練習	ドリル練習を実践する	村上 洋子	吉田 良恵
17	平成27年10月11日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	8人	会話練習	会話練習の仕方を知る	村上 洋子	吉田 良恵
18	平成27年10月18日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	6人	会話練習	会話練習を実践する	村上 洋子	吉田 良恵
19	平成27年10月25日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	6人	場面設定	どこでその会話がつかわれるか場面の設定をする	村上 洋子	吉田 良恵
20	平成27年11月22日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	5人	場面練習	場面での会話ができるようにする	村上 洋子	吉田 良恵
21	平成27年11月29日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	6人	1時間の流れ	授業の組み立てを考える	村上 洋子	吉田 良恵
22	平成27年12月6日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	7人	教案の作り方	どうやって教えるか流れを考える	村上 洋子	吉田 良恵
23	平成27年12月13日 (日) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり 交流センター	7人	実践練習	初級クラスを見学し、参加する	村上 洋子	吉田 良恵
24	平成27年12月20日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	6人	振り返り	クラスを見学し、気づいたことを話す	村上 洋子	吉田 良恵
25	平成27年12月27日 (日) 9:30～10:30	1	こまつまちづくり 交流センター	6人	模擬授業準備	教えられるように1時間の流れを考え教案を作る	村上 洋子	吉田 良恵
26	平成28年1月17日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	6人	模擬授業	教えられるように1時間の流れを考え教案を作る	村上 洋子	吉田 良恵
27	平成28年1月24日 (日) 12:00～13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	5人	模擬授業	模擬授業をする	村上 洋子	吉田 良恵

28	平成28年1月31日 (日) 12:00~13:00	1	こまつまちづくり 交流センター	7人	まとめ	振り返りと今後の課題	村上 洋子	吉田 良恵
----	----------------------------------	---	--------------------	----	-----	------------	-------	-------

(7) 特徴的な活動風景(2~3回分)

活動例①

【第1回 5月10日】 日本語を教えてみたい上級者に集ってもらい、日本語の学習歴やどのように勉強したら効果的かなど自分たちの経験や、日本語を勉強することの難しさなどを話し合った。



活動例②

【第23回 12月13日】 実際の初級クラスに入り、実践をしてみる。実践をしてみて、どのような準備が必要か、教案作成の重要性などを痛感した、との感想があった。



(8) 目標の達成状況・成果

最初はたくさんの受講者であったが、帰国したり、教えることに向いていないと判断した受講者がだんだん抜けていき残念だった。しかし、途中帰国した受講者の中には、母国で日本語教師になった人もいて、この講座が役に立ったと評価している。修了者は4月から日本人の教師とペアを組んで実際に教えるように今から準備をしている。また、知らなかった基礎的な知識を再認識して、自分たちの日本語のレベルが上がったという意見もあった。今後母語で教える先生がいるということで初級の受講者が増えることを期待している。

(9) 今後の改善点について

言語に偏りができてしまい、現在ポルトガル語、英語、中国語には対応ができるが、そのほかの言語には対応できない。受講者の多いタイ語やベトナム語なども今後増やせて行けるといい。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

昨年度は在住外国人の日本語力向上を目指し、外国人がその日本語を駆使し、地域社会の住民と共に行事に参画・参加し、地域に生きる一員であることの認識を深めた。今年度はさらに一歩進め、「小松観光ボランティアガイドの会」との連携を深めて、多言語文化通訳として小松を訪れる外国人への多言語による観光ボランティアガイドを目指すことによって地域の一員としての認識を更に深め、日本人と協働してまちづくりを考える。また、外国人のための日本語講師養成講座を開講し、講座受講者は日本語の基礎を学び教えることにより日本語力の底上げを図ることを目標とする。そして来年度以降、今まで日本語を学ぶことを躊躇してきた外国人学習者への母語での学習の機会を提供することにより、日本語学習のすそ野を広げることを目的とする。

(2) 目的・目標の達成状況

今年度は昨年同様、小松市消防本部の協力で、心配蘇生やAEDの使い方を学ぶことができた。日本語のわからない外国人にも上級者が通訳をして、救急車の呼び方や、AEDの使い方を体験することができてよかった。上級者は災害時に日本語がわからない人たちに通訳が必要であることを認識し、今後も勉強を続ける必要性を感じたようだ。市内調査では市役所と連携し、ボランティアガイドの方たちと共に観光地の説明ができるように、学びを進めた。

(3) 地域における事業の効果、成果

日本語を学びたい気持ちはあるが、全く日本語ができないために学習を躊躇する外国人のための学習の体制整備を目的に「外国人向け日本語講師養成講座」を実施した。受講者のうちの5名が修了し、実際の初級クラスにて全く日本語ができない学習者に対し母語で教える実践を始めている。日本語が全くできない学習者からは「母語で教えてもらい質問もできるので日本語学習に対する緊張や抵抗が少なくなった。学習を続けていきたい。」と好評である。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果

地域のボランティアガイド団体や地域住民で地域の苔を守っている保存会の代表の方に今年度、初めて協力していただき取組を行った。地域には生活者としての外国人がいることを知ってもらい、顔の見える関係づくりのきっかけとなった。また、外国人には地域の日本人と一緒にまちづくりを考え、地域の一員として認識することができた。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

事業実施に当たっての広報活動としては日本語教室学習者への通知、当協会フェイスブック・ホームページ、小松市の多言語広報誌、SNS外国人グループでの発信などに努めた。事業成果の地域への発信は、今年度は小松市主催のイベント内にスペースを設けてもらいポスター発表という形をとって発信したが、周りが賑やか過ぎて声が届かない場面もあった。次年度以降は発信の場、方法を見直す必要があるように思う。

(6) 改善点、今後の課題について

①現状：市役所や消防署とは連携・協力を継続できており、外国人に対する理解も進み協力的であるが、その他の行政機関や企業、そして地域の諸団体との連携関係がまだ少なく、地域住民と外国人との接点がまだ少ない。また、日本語を学習する外国人もまだまだ少ない。
②今後の課題：企業や事業所、地域の諸団体などの様々な連携・協力先を構築していく必要がある。また、日本語学習を躊躇している外国人のため学習の機会を提供し、日本語学習のすそ野を広げていくことも課題である。
③今後の課題解決に向けた活動予定：地域の様々な新たな連携・協力先の構築と、外国人講師による日本語教室の開催・周知に努め日本語学習のすそ野拡大を進めると共に日本語教室のクラス(レベル)分けを細分化し、きめ細やかな日本語教育を提供できるよう努める。

(7) その他参考資料

- ・取組2 防災訓練(AED)チラシ
- ・取組3 小松のいいところ発見！パート② アンケート集計
- ・取組3 小松のいいところ発見！パート② アンケート集計(学習者まとめ)
- ・取組5 外国人向け日本語講師養成講座 チラシ